

新年のごあいさつ

年頭にあたって



あま市長
村上 浩司

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市政運営に対しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類相当から5類に移行されました。令和元年に世界で初めて感染者が報告されてから3年以上、未知のウイルスとの戦いを強いられてきました。誰もが経験したことの無い未曾有の事態ではありませんが、市民の皆様や事業者、医療関係者の皆様とともに、このコロナ禍を乗り越えてまいりました。市民の皆様には、行動の制約や施設の利用制限などにご理解、ご協力をいただきましたことに、厚く御礼を申し上げます。昨年の夏には、4年ぶりにあまつりを開催することができ、コロナ禍以前の賑わいが戻ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症は完全に終息したわけではありません。引き続き、自主的な感染対策など、感染の再拡大防止に向けてご留意いただきますようよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて



あま市議会議員
後藤 哲哉

あけましておめでとうございます。令和6年年頭に当たり、あま市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、明るく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素は、あま市議会に対して深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、5月8日に5つのコンセプト、1. 中枢防災拠点として市民の安全安心を守る庁舎、2. 行政機能の拠点として市民が利用しやすい庁舎、3. 市民の交流拠点としてすべての人に親しみやすい庁舎、4. 環境と共生する人にも自然にもやさしい庁舎、5. ライフサイクルコストに優れた経済的かつ長寿命な庁舎を基に建設した新庁舎が開庁しました。

新しい議場は、段差がないなど、バリアフリーになっております。採決システムを導入したことで、採決の状況がモニターに表示できるようになりました。また、小さなお子様連れでも気軽に傍聴できる思いやりルームも備えてあります。新庁舎開庁を契機に多くの市民の皆様

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、アフターコロナへの動きが加速する中、安心な日常生活を取り戻し、社会経済活動を回すための取組をオール愛知一丸となつて進めてまいりました。そうした中、昨年は、新たに「ものけの里」が開園したジブリパークを始め、国内最大のスタートアップ支援拠点「STARTUP ON AI」や「愛知国際アリーナ」の整備を着実に推進するとともに、2026年の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けた準備をしっかりと進め、愛知を更なる「飛躍」へと導く1年とすることができました。

また、国に先駆けて取り組んだ「少子化対策パッケージ」や、本県独自の「休み方改革プロジェクト」など、時代の流れを見極めながら、愛知が「フアースト・ペンギン」となり、様々な取組に果敢にチャレンジした1年でもありました。世界は、グローバル化やデジタル

また、昨年は、あま市の新たなシンボルとなった新庁舎が竣工し、5月8日から業務を開始いたしました。新庁舎は、基礎免震構造による高い耐震性を備え、市民の安全安心を守る中枢防災拠点としての機能を果たすとともに、地中熱利用、太陽光発電、照明の全館LED化など環境への配慮や、わかりやすく使いやすい庁舎とするため、ユニバーサルデザインにも配慮し、環境と共生する、人にも自然にもやさしい庁舎を実現しております。

少子高齢化の急速な進行や人口減少による地域経済への影響、世界情勢に伴う物価上昇など、あま市を取り巻く社会情勢は常に変化しております。そのような中で、さまざまな地域の課題解決に取り組み、あま市が住みやすく、魅力あふれるまちを目指すため、各種施策を着実に推進してまいりますので、市民の皆さまの一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今年パリオリンピック・パラリンピックが開催される年であり、日本国民が一つになって大いに盛り上がることを期待されているところですが、前回の東京オリンピックにおいてあま市ではメダリストを2人輩出したところがあります。今回の開催においても、一人でも多くのあま市関係者の方が出場、ご活躍されることを願っております。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、健康で幸多い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和6年元旦

が傍聴に来ていただくことを心よりお待ちしております。そして、議会だよりも3月にリニューアルしました。多くの皆様にご覧いただき、読むような親しみやすい紙面構成で議会の情報を広く発信していきます。

スポーツに目を向けますと、ワールド・ベースボール・クラシックでは日本が3大会ぶり3回目の優勝を果たし、大リーグでは、大谷翔平選手が日本人選手で初めてホームラン王を獲得し、国民の皆さんに夢と希望を与えてくれました。

一方、国内を見てみますと、昨年は観測史上最も暑い夏となりました。いつ起ころうともおかしくない東海・東南海地震、台風やゲリラ豪雨、線状降水帯による大雨災害に加えて、暑さも対策が必要な災害になりました。これらの災害に対して、備えることの重要性を改めて認識しました。

今年辰年です。あま市が、竜が昇るように勢いよく発展し、笑顔と幸せあふれるまちとなるように、あま市議会として、対話と議論を大切にして活動してまいります。

結びに、市民の皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康・ご多幸をご祈念申し上げます。あいなさつとさせていただきます。

令和6年元旦

化の加速度的な進展、SDGs実現に向けた潮流など、大きく変化をしています。こうした変化に的確に対応し、将来にわたり、愛知が成長を続けていくためには、何より、愛知を支える「人づくり」が重要となります。

今年も、日本の未来を形づくるビッグプロジェクトを着実に進めるとともに、新時代を担う人材の育成・発掘に力を注ぎ、「日本一元気なあいち」の実現を目指してまいります。

今年3月には、ジブリパーク最大のエリアである「魔法の谷」が開園し、フルオープンを迎えます。また、10月には、「STATION A1」がいよいよ開業します。世界中から、最先端の技術・サービス、人材を愛知に呼び込み、新たなイノベーションを次々と創出することで、更に人材が育ち集まってくる、そうした人材の好循環を生みだし、更なる愛知の成長につなげてまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注いでまいります。

引き続き、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和6年元旦